

授業科目	人生と哲学（オンデマンド）					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	桐原 隆弘						
授業概要	<p>人生の素朴な疑問に向き合うことから、哲学ははじまります。哲学は philosophy の訳語ですが、これは古代ギリシア語の philos(愛)と sophia(知恵)を語源とし、「知恵の愛求」がもとの意味です。素朴な疑問に納得のいく答えを与えること、という欲求が philosophy のはじまりなのです。</p> <p>この授業では、①人生にとって徳とは何か ②人生にとって平和はどんな意味をもつのか ③人生にとって芸術はどんな意味をもつのか ④人生にとって科学的思考はどんな意味をもつのか 以上四つの問い合わせについて考えてみたいと思います。ほかにも人生をめぐる問い合わせは無数にありますが、ここに挙げたのはそのなかのごく一部分です。</p> <p>資料およびテキストを活用して、人生の意味について、思索をめぐらせてみましょう。</p>						
授業形態	オンデマンド授業			授業方法	オンデマンド		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 徳倫理学の概要を理解し、説明できる。 2. 平和哲学の概要を理解し、説明できる。 3. 芸術の意味を考察できる。 4. 科学的思考の意味を考察できる。
理想的レベル	哲学的思考のエッセンスを十分に理解したうえで、各自の問題意識から主体的に題材を選んで考察し、それを論理的に組み立てて表現できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	40%	
レポート	60%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	0	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	NU10410J WE10410J NT10410J EN10410J TO10410J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--

学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

該当部分の復習	4
---------	---

授業計画

第1回	徳についてアリストテレス(BC.384-BC322)とともに考える（①徳の種類とその意味）
第2回	徳についてアリストテレスとともに考える（②徳倫理と道徳教育）

第3回	平和についてカント(1724-1804)とともに考える (①平和をめぐる哲学的思索の動向；テキスト「序論」)
第4回	平和についてカントとともに考える (②歴史進歩と平和；テキスト「第1章」)
第5回	平和についてカントとともに考える (③デモクラシー平和論とは何か？；テキスト「第2章」)
第6回	平和についてカントとともに考える (④カントにおける法と自由と利己心；テキスト「第3章」)
第7回	平和についてカントとともに考える (⑤商業平和論とは何か？；テキスト「第4章」)
第8回	平和についてカントとともに考える (⑥カントにおける市民的法秩序の構想；テキスト「第5章」)
第9回	平和についてカントとともに考える (⑦現代における平和構築のためにできることは何か？；「結論と展望」)
第10回	芸術についてアドルノ(1903-1969)とともに考える (①芸術と社会)
第11回	芸術についてアドルノとともに考える (②音楽の聴取タイプ)
第12回	芸術についてアドルノとともに考える (③作品分析と作品の意味)
第13回	科学的思考についてポパー(1902-1994)とともに考える (①反証可能性とは何か？)
第14回	科学的思考についてポパーとともに考える (②可謬性、反証可能性、パラダイム)
第15回	科学的思考についてポパーとともに考える (③科学的判断とフェイク)
テキスト	桐原隆弘 著、『〈法〉 中心の自由論——商業平和論／デモクラシー平和論へのアプローチ』、晃洋書房、2025年
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に適宜紹介します。またクラスルームで参考資料を共有します。
課題に対するフィードバックの方法	次の回の冒頭、レポートについてコメントを行います。
学生へのメッセージ・コメント	まずは各自の「人生」に真摯に向き合いましょう。そして生きる意味や価値尺度について自分なりに考えを巡らせましょう。 哲学や倫理について書かれた書物やインターネットの記事などを読み、理解を深めましょう。